

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-65795(P2004-65795A)

【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-232163(P2002-232163)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 M 25/01

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

先端側に配置された線状の第1ワイヤと、

前記第1ワイヤの基端側に配置され、前記第1ワイヤの構成材料より弾性率が大きい材料で構成された線状の第2ワイヤとを備え、

前記第1ワイヤと前記第2ワイヤとは、溶接により連結され、

前記第1ワイヤおよび前記第2ワイヤの外径は、前記第1ワイヤと前記第2ワイヤとの溶接部より基端側の位置から前記溶接部を跨いで前記溶接部より先端側の位置まで、先端方向へ向かって漸減していることを特徴とするガイドワイヤ。

【請求項2】

前記第1ワイヤと前記第2ワイヤとの接続端面は、両ワイヤの軸方向にほぼ垂直になっている請求項1に記載のガイドワイヤ。

【請求項3】

前記第1ワイヤと前記第2ワイヤとの接続端面は、両ワイヤの軸方向に垂直な平面に対し傾斜している請求項1に記載のガイドワイヤ。

【請求項4】

前記第1ワイヤと前記第2ワイヤとの接続端面は、凹面または凸面になっている請求項1に記載のガイドワイヤ。